

ロタウイルスワクチン

〈ロタウイルスについて〉

ロタウイルスは胃腸炎を起こすウイルスで、たくさんの種類（型）があります。症状としては主に 4～5 日続く強い嘔吐・下痢で、乳幼児において胃腸炎の中で最も感染頻度が高く、重症化しやすいことが知られています。胃腸炎には直接効果のある治療法はありませんが、ロタウイルスへの感染に関してはワクチン接種により予防が可能です。

〈ワクチンについて〉

ロタウイルスワクチンは、経口（口から飲む）ワクチンです。接種することで、点滴や入院が必要になるほどの重症化を約 90%減らすことがわかっています。

早期に免疫を獲得するために、生後 2 か月以降で他のワクチンと同時接種を行います。現在日本では「ロタリックス」と「ロタテック」の 2 種類が発売されており、当院ではどちらを接種するかを保護者の方に選択していただいています。ロタテックは 5 種類の型に対応していますが、1 種類の型に対応しているロタリックスのほうが劣っているかということ、そうは言い切れません。

	ロタリックス	ロタテック
接種期間	生後 6～24 週	生後 6～32 週
	腸重積発症のリスクを最小限にするため、 初回接種は 14 週 6 日（15 週未満）が推奨されています	
接種回数	2 回	3 回
メーカー	グラクソ・スミスクライン	MSD
価数	1 価 最も流行・重症化しやすい 1 種類に対応。交叉免疫により他タイプへの免疫も示す。	5 価 世界中で検出される主要な 5 種類に対応。
投与量	1.5mL/回	1 回につき 2mL/回